

平成22年第3回  
美唄市議会臨時会会議録  
平成22年7月27日(火曜日)  
午前10時00分 開議

総務部長 藤井英昭君  
市民部長 岩本良一君  
都市整備部長 山口隆慶君  
総務部総務課長 大崎 聡君  
総務部総務課総務係長 村上孝徳君

◎議事日程

- 第1 会議録署名議員の指名  
第2 委員長報告  
1 議案第60号 平成22年度美唄市一般  
会計補正予算(第3号)(予算審査特別)

◎事務局職員出席者

事務局長 岡嶋博文君  
次 長 中平匡司君

午前10時00分 開議

◎出席議員(14名)

議長 内馬場 克 康 君  
副議長 谷 村 孝 一 君  
1 番 吉 岡 文 子 君  
2 番 森 川 明 君  
3 番 五十嵐 聡 君  
4 番 高 田 正 則 君  
5 番 高 橋 幹 夫 君  
6 番 阿 部 義 一 君  
7 番 長谷川 吉 春 君  
8 番 米 田 良 克 君  
10番 小 関 勝 教 君  
11番 土 井 敏 興 君  
13番 紫 藤 政 則 君  
14番 林 国 夫 君

◎欠席議員(2名)

9 番 白 木 優 志 君  
12番 本 郷 幸 治 君

◎出席説明員

市 長 桜 井 道 夫 君  
副 市 長 板 東 知 文 君

●議長内馬場克康君 これより本日の会議を開きます。

日程の第1、会議録署名議員を指名いたします。

1 番 吉岡文子議員、  
2 番 森川 明議員、  
を指名いたします。

●議長内馬場克康君 次に日程の第2、委員長報告に入ります。

順次1、議案第60号平成22年度美唄市一般会計補正予算(第3号)を議題といたします。

本件について、委員長の報告を求めます。土井予算審査特別委員長。

●予算審査特別委員長土井敏興君(登壇) ただいま議題となりました議案第60号平成22年度美唄市一般会計補正予算(第3号)について、予算審査特別委員会の審査の経過並びに結果をご報告申し上げます。

経過といたしまして、7月26日、委員会

を招集して審査をいたしました。

議案審査における質疑・答弁のうち、主なものについて申し上げます。

初めに、地域公共交通活性化協議会貸付事業について、これは国の事業になるのか。もし、そういう状況であれば、近隣の市町村で実施されているところはあるか。との質疑に対し、市町村の事業で、この事業をやることにおいて国の方から補助をいただける。

また、空知管内で取り組んでいるのは、滝川市、新十津川町、長沼町、栗山町、沼田町の5市町となっている。との答弁。

次に、事業内容に現状交通実態調査、利用者ニーズ把握調査という2項目の調査が記載されているが、いつまで行って、どのような内容の調査なのか、との質疑に対し、事業の計画策定を今年度中に予定をしている。

現況調査の中身については、美唄市の公共交通の概要調査、公共交通の現況調査、関係諸条件の把握、新たな公共交通事例の整理になっている。また、ニーズ調査については、市民バスの利用、南美唄線・専大線に乗っている方々の実態調査、市内のタクシー利用者などの実態調査、さらに、今後考えられる公共交通形態の設定ということで考えている。との答弁。

次に、公共交通の問題について、地域の振興計画と市民の足確保は切っても切れない話であり、ここをどうするかということを経営して方針を示していくのが総合計画のはずだが、今後新たな行政支出も伴い、財政計画、収支計画との整合性も取らなければ意味がない。まちづくり計画とあわせてやるべきではないか。

また、法定協議会はどのような構成なのか。この事務局は市がやることになるのか、との質疑に対し、地域公共交通活性化協議会の構成メンバーについては、札幌陸運支局、美唄警察署、空知支庁、札幌開発建設部、岩見沢道路事務所、札幌建設管理部岩見沢出張所、フラワー観光バス株式会社、株式会社美唄自動車学校、中央バス、昭和ハイヤー、美唄交通、北海道地方交通運輸産業労働組合協議会、地元の美唄老人クラブ連合会、美唄婦人団体連絡協議会、美唄市PTA連合会、学識経験者として専修大学北海道短期大学の先生に入っている。また、市長が指名する市の職員は、副市長、総務部長、市民部長の3名、全体で18名の委員で組織され、協議会の会長は副市長が努める。委員の指名はいずれも美唄市長が委嘱し、市民部市民課が事務局を担い、この活性化協議会で実施しようとしている計画書の作成を含め、2年目以降は実証運行に対して、国から2分の1、残り2分の1は市が負担していく考えであることから、健全化計画などとの整合性を十分保ちながら、この実施に当たりたい。との答弁。

次に、住宅改修促進助成事業について、平成21年度までの助成実施件数と22年度の実施件数について、との質疑に対し、平成20年度から制度が始まっており、20年度は2件、21年度は40件、今年度は6月末現在で36件、との答弁。

次に、今回の補正件数25件の根拠は、また、今後25件以上希望件数が増えた場合の対応については、との質疑に対し、25件の根拠については、昨年が8月以降に24件という実績のため、それをもとに積算した。ま

た、予算に不足が生じた場合には、別途予算措置が必要と考えている。との答弁。

次に、現在はバリアフリー化と断熱改修という内容になっているが、耐震改修についての考え方、耐震診断の実施時期について、との質疑に対し、現在、パブリックコメント中の美唄市耐震改修促進計画の中でも検討しているが、耐震改修費についても北海道の方にも国の交付金を活用した制度があるので、そういうものを活用したものを検討していきたいと考えているが、まず簡易診断ではあるが、無料の耐震診断相談窓口を開設し、診断の需要・動向を見ながら検討していきたい。また、実施時期は、年度内には開設したいと考えている。との答弁。

次に、住宅改修促進事業について、今回の追加補正は、年度当初の考え方をベースにして枠を増やすわけだが、新たな施策として打ち出して3年目になるが、この間の検証や建設業協会の要望、投資と効果の検証、対象、ニーズ調査など、今後のこの問題に対する構えについて、との質疑に対し、事業をスタートしたときは2件しかなく、4分の1の助成や、バリアフリーに限定したPRも足りなく、内容的なものも市民の要望にこたえていないなどの協議をしながら3分の1に補助率を上げ、断熱改修にも適用したところ、かなりの件数となり、今年はそれ以上に出てきた状況である。他市では新築にも助成をしている例もあり、これらも踏まえてという要望もあるが、新築まで適用すると膨大な額となり、美唄市の財政状況を判断した場合、無理であると考えてる。助成は改修程度にとどめ、その範囲を今後いろんな検証・調査をしながら検

討していきたい。

今回、民間の耐震の改修計画もつくっていることから、民間の耐震されていない住宅について、この制度でどの程度救えるか。対応できるのかもあわせ、リフォーム主体の制度を充実するかどうか、いろいろ検証や要望も把握しながら慎重に検討したい。との答弁がありました。

結果といたしまして、議案第60号は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本委員会の決定どおりご承認いただきますようお願い申し上げます。報告を終わります。

●議長内馬場克康君 これより議案第60号について質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

本件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。

よって、**議案第60号平成22年度美唄市一般会計補正予算（第3号）**は、委員長報告のとおり**決定**されました。

●議長内馬場克康君 以上をもちまして、今期臨時会に付議されました案件は、議了いたしました。

これをもって、平成22年第3回美唄市議会臨時会は閉会いたします。

---

午前10時07分 閉会

以上会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するためここに  
署名する。

議 長 \_\_\_\_\_

署 名 議 員 \_\_\_\_\_

署 名 議 員 \_\_\_\_\_